

平成 30 年度
九州大学理学部第 3 年次編入学
学生募集要項

1. 募集人員

学 科	募集人員
物理学科（物理学コース）	若干名
数 学 科	5 名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学士の学位を有する者及び平成 30 年 3 月 31 日までに学士の学位を取得する見込みの者
- (2) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (3) 修業年限 4 年以上の大学において、第 2 年次以上に在学する者又は在学した者で、下表の要件を満たす者（数学科志願者においては下表(1)、(2)ともに満たす者）

物理学科志願者	数学科志願者
大学において 62 単位以上を修得している者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修得見込みの者。	(1) 大学において 70 単位以上を修得している者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修得見込みの者。 (2) 他大学の理学部数学科又はそれに準ずる学科に在籍していない者。

- (4) 外国において、学校教育における 14 年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含みます。）を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の専門課程（修業年限が 2 年以上であり、かつその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限り。）を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者（学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者に限り。）
- (6) 高等学校の専攻科の課程（修業年限が 2 年以上であり、かつその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限り。）を修了した者及び平成 30 年 3 月 31 日までに修了見込みの者（学校教育法第 90 条第 1 項に規定する者に限り。）

3. 出願手続

出願者は、次の書類に検定料を添え提出してください。郵送の場合は、**書留郵便**とし、封筒表面に「**理学部編入学願書**」と朱書してください。

(提出書類)

(1) 願書・受験票	本学部所定の用紙を使用してください。 志望する学科名を記載してください。
(2) 成績証明書	出身学校長又は学部長が発行したもの
(3) 卒業(見込)証明書又は 学位授与(見込)証明書	出身学校長(学部長)が発行したもの又は大学評価・学位授与機構が発行したもの ※修業年限4年以上の大学2年次～3年次に在学中の者で、「卒業(見込)証明書又は学位授与(見込)証明書」の提出ができない者は、「在学証明書」を提出してください。
(4) 受験票返送用封筒	封筒(長形3号)に宛先を明記し、郵便切手362円分を貼ったもの
(5) 入学検定料原符 (検定料 30,000円)	<p>入学検定料30,000円を次の方法により納付し、入学検定料原符を提出してください。</p> <p>別添の振込み依頼書(「九州大学」入学検定料)の太枠で囲まれている記入欄に必要事項を全てボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さずに銀行へ持参してください。振込を済ませたら、銀行窓口で返還された書類のうち「九州大学」入学検定料振込金受付証明書(C票)を入学検定料原符の入学検定料振込金受付証明書貼付欄に貼付し、志望学部学科・住所・氏名・連絡先を記入し、出願書類に同封してください。また、記入の際は、別紙記載例を参照してください。</p> <p>○ ゆうちょ銀行・ATM・インターネットでの振込みはできません。 なお、三井住友銀行本支店にて振込みをする場合の振込手数料は無料となりますが、他行から振込む場合は、振込手数料は出願者が負担することになります。</p> <p>○ 振込みは「電信扱」に限ります。</p>
(6) 住所票	別添用紙(シール)に志願者の住所(入学願書の記載と同じ)・氏名を記入してください。

※ 入学検定料の支払いについては、上記(5)の銀行振込みのほか、コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの決裁による支払いも可能です。詳細は、別紙「九州大学コンビ

ニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料振込方法」をご確認ください。
 なお、振込期限は、願書受理期間内としています。

4. 願書受付期間及び提出先

(1) 受付期間

平成 29 年 6 月 2 日（金）～同年 6 月 9 日（金）
 （郵送の場合も、同期間内に必着とします。）

(2) 提出先

〒819-0395 福岡市西区元岡 744
 九州大学理学部等事務部学生係

5. 筆記試験科目等

学 科	考查方法		月日 (曜)	時 間	考查概要	場 所
物理学科 (物理学コース)	学力 検査	物理学	7 月 1 日 (土)	9:00～13:00	理工系の大学共通教育程度の力学・電磁 気学・振動波動・熱力学	九州大 学理 学部 (別 途 通 知)
		英 語				
	口頭試問			14:00～	志望動機や学力検査の問題についての 質問、詳しくは物理のホームページ http://www.phys.kyushu-u.ac.jp を参 照	
数学科	学力検査 (筆記試験)		7 月 1 日 (土)	9:30～12:00	微分積分と線形代数の基礎	
	口頭試問			15:30～	口頭試問の受験資格者は当日の 15:00 にウエスト 1 号館 C 棟 2 階エントランスホールに掲示 します。	

6. 合格者発表

平成 29 年 7 月 21 日（金）10:00 に、合格者の受験番号をウエスト 1 号館 C 棟 2 階エントラ
 ンスホールに掲示すると共に合格者に通知します。

また、受験者の便宜を図るため理学部のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。
 なお、合格・不合格についての電話による問い合わせには一切応じません。

7. 編入学の許可

編入学年次は第 3 年次とし、入学許可は平成 30 年 4 月とします。

8. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願前なるべく早い時期に理学部等事務部学生係まで相談してください。

なお、6月2日（金）までに連絡がない場合、受験上の配慮が講じられない場合もありますので十分注意してください。

9. 長期履修制度について

本学では、学生が職業を有する、或いは障害がある等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を導入しています。

この制度の適用を申請し認められた場合、標準修業年限分の授業料を長期履修の年数で除した額を毎年納入することになります。

なお、手続等の詳細は、入学手続時に通知します。

10. 注意事項

- (1) 出願手続き後の書類の変更、検定料の払い戻しはできません。出願資格に疑問のある場合は出願前に問い合わせてください。
- (2) 受験票は、平成29年6月23日（金）ごろに直接本人宛に発送します。
- (3) 編入学願書を請求する場合は、封筒表面に「理学部編入学願書請求」と朱書し、郵便切手205円分を貼ったあて先明記の返信用封筒（角形2号）を同封して申し込んでください。
- (4) 1の出願資格（3）「2年次以上に在学する者」に該当する出願者のうち、物理学科志願者は62単位、数学科志願者は70単位を修得見込みの者で編入学試験に合格した者は、修得単位の認定を行いますので、平成30年3月30日（金）までに成績証明書（2年次後期までの成績が記載されたもの）及び退学証明書を1部提出してください。
- (5) 卒業見込みの者で編入学試験に合格した者は、平成30年3月30日（金）までに卒業証明書を提出してください。

○ 出願書類における個人情報の保護について

1. 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。
 - (1) 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
 - (2) 提出された成績証明書を、3年次における授業料免除等の就学支援業務で利用します。
2. 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。
3. 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

平成29年5月

〒 819-0395 福岡市西区元岡 744
九州大学理学部等事務部学生係
電話 092-802-4038

アドミッションポリシー（学部の求める学生像、入学者選抜の基本方針）

○物理学科

【求める学生像】

物理学を学び、それを将来の進路に生かそうという意欲と能力を持った学生を求めます。

物理学科3年次以降の講義科目を理解するために、基礎学力として、大学初年度程度の物理学および英語を習得していることが最低限必要です。また、入学後の講義理解・情報収集・レポート作成・発表のためには、コミュニケーションの能力が重要です。

次に、物理学を学んで自分のものにしようとする意欲が必要です。意欲があるとは、ただ興味を持っていただけではなく、自ら進んで知識を広め、疑問点を考え、或いは先生や知人と意見を交わすなど、積極的に行動することを意味します。

また、大学での学問は社会のサポートがあってはじめて出来ることなので、物理学の学習で得た成果は、将来、社会に還元すべきものです。物理学は社会に大きい影響を及ぼす可能性のある学問なので、社会的責任感を涵養することを求めます。

【入学者選抜の基本方針】

物理学と英語に関する筆記試験と物理学に関する口頭試問により、物理学を学ぶ意欲とそれを裏付ける学力のある学生を選抜します。

○数学科

【求める学生像】

現代数学の一端に触れて数学に目覚め、創造性と自由性に富んだその知の世界を極めたいという探求心旺盛な学生を求めます。現代数学の理念や方法を修得すれば、数理学の先端的分野の研究者や数学の教育者から、数理学の理論を活用する技術者まで、活躍の場が大きくひろがります。

さらに今、現代生活を支える科学的基盤に数理科学の立場から積極的に新しい提案をすることが、数学に求められています。そのための豊かな感性や創造性を培うには、自ら学び、考え、一人一人の個性と多様な能力を一層伸ばす必要があります。

- ・数学が好きであること、
- ・数学の基礎を着実に身に付けること、
- ・自然科学、情報科学、社会科学の数理的側面に好奇心旺盛であること、

などはもちろん、

- ・自ら問題を発見し、それを解決するため、先端の理論に積極的に挑み新しい理論を開発する意欲に溢れていること、

が強く望まれます。英語力も欠かせません。

また、高度な専門的能力を獲得するために、大学院への進学を推奨しています。

【入学者選抜の基本方針】

本試験では、高等専門学校卒業生(卒業予定者)並びに数学を専攻していない大学生が本数学科に進路変更を希望している場合を想定しています。

現代数学を修得するには、数学固有の抽象的な概念に親しみ、厳密な理論構成を地道に積み重ねる作業が要求されます。そのため、基礎学力を重視します。

学力検査では、筆記試験によって微分積分と線形代数の問題を解答させ、口頭試問と併せて、基礎を確実に修得しているかどうかを判定します。口頭試問では、また、数学に深い関心を持つ

て数理現象の解明と応用に意欲的に取り組む熱意、優れた論理的思考力の有無を判定します。